

LANEX[®]-TL10

爆発性ガス雰囲気のある危険場所(防爆エリア)で、安全・安心に使用可能なIP携帯電話機

防爆型無線LANシステムは、ガス、石油化学、化学薬品工場等に存在する防爆エリアへの適用/設置が可能な無線LANシステムです。防爆型のPDAやIPカメラと組み合わせれば、設備運転データや映像の監視も行えます。さらに、**防爆型IP携帯電話**との組み合わせにより防爆エリアにて通話が可能となります。指向性/無指向性のアクセスポイントを使い分ける事により、様々なエリア形状に対して最適(ミニマムコスト)なシステムの構築が可能です。



適用が想定される各種プラントエリア

<主な特徴>

防爆構造	Ex ib II BT4
無線LAN	IEEE802.11g/b に準拠 (2.4GHz帯)
セキュリティ	各種セキュリティ機能(WEP、WPA2-PSK、WPA-PSK)をサポート
主な特徴	本質安全防爆を適用。現在販売中の防爆IP携帯電話の中でトップクラスの軽量化を実現。LANEX-HF10(別売)との組合せにより、ハンズフリー通話が可能。外線/内線通話機能に加え、会議通話が可能。他通話システム(PHS他)との連携も容易。転倒検出機能(オプション)を装備。IP携帯電話所持者が転倒した時の警報出力が可能。
通信距離 ^{注1}	約~200m

注1: アクセスポイント(AP)との通信距離は、APの設置環境、及びAPIに接続している端末の台数により異なります。



携帯電話本体による通話イメージ



ハンズフリーによる通話イメージ

防爆型ハンズフリー拡大図
(電話機~ハンズフリー間は無線)



**Bluetooth搭載
ハンズフリーユニット
『LANEX-HF10』**

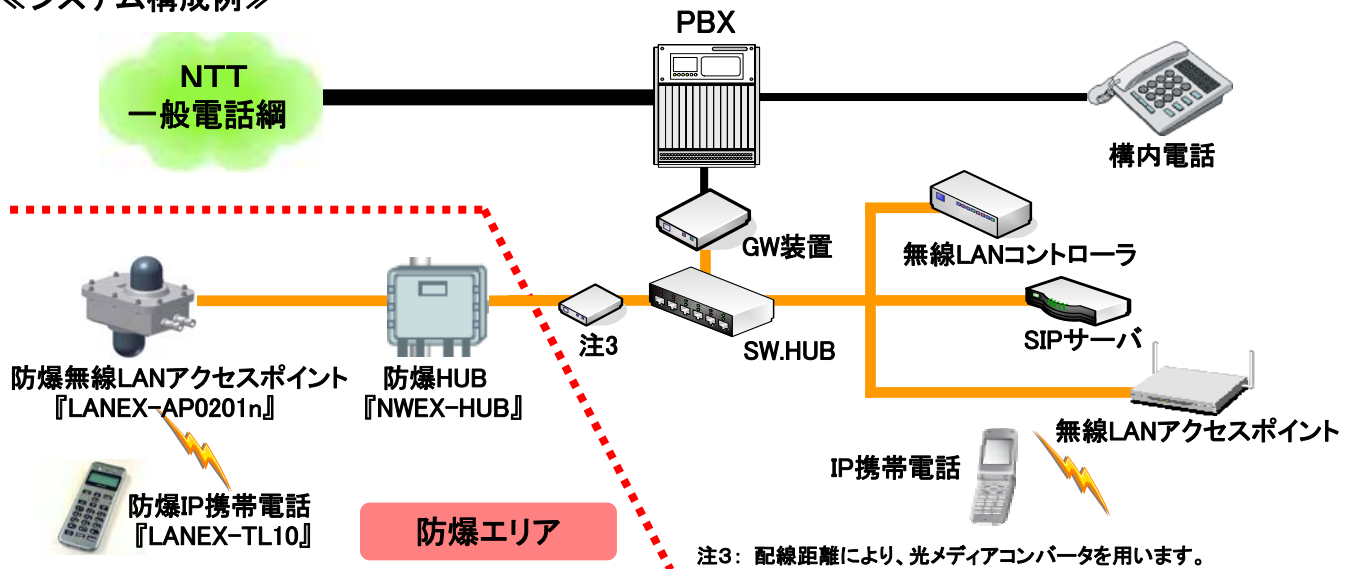
<LANEX[®]-TL10基本仕様>

種別	項目	仕様 ^{注1}
一般	外形寸法	50mm(W) × 145mm(H) × 20mm(D)
	重量	約130g
	防爆構造 ^{注2}	Ex ib II BT4 (1種/2種危険箇所)
	保護等級	IP2X(生活防水)
	バッテリー	リチウムイオン 3.7V 1200mAh
	動作時間	スタンバイ約60時間 通話5時間
	使用温度(湿度範囲)	-10℃~50℃ (湿度:~90%RH結露無きこと)
	ディスプレイ 文字入力	モノクロ、反射型、2行×16文字 半角カタカナ/英数字/記号
VOIP部	呼制御プロトコル	IETF SIP V2(RFC3261)、SDP、OutBound Proxyサポート
	コーデック	G.711(a/u-Law)、G.729a/b、CNG、PLC、AEC(G.164準拠)、VAD アダプティブジッターバッファ、DTMF(In Band, Out-of-Band: RFC2833)
無線LAN部	サポート規格	IEEE802.11g/b
	伝送方式	802.11g : 直交周波数分割多重方式(OFDM) 802.11b : 直接スペクトラム拡散方式(DSSS)
	使用周波数範囲	2.4GHz帯(全13ch)
	通信速度	802.11g: 54Mbps(理論値) 802.11b: 11Mbps(理論値)
	セキュリティ	WPA2-PSK、WPA-PSK <AES/TKIPから選択>、WEP(64/128bit) IEEE802.1X認証(EAP-TTLS, EAP-PEAP)
	グループ送信	SSID
	送信出力	10mW/MHz以下
	通信距離	約~200m 但し、使用される環境により異なる。
その他	サポート機能	発信、着信、保留、告知/無告知転送、通話中自動転送、スピードダイヤル(9件)、 無応答自動転送(タイムアウト時間設定可)、リダイヤル、通話履歴表示(発信信各20件)、 電話帳(400件)、キーロック、時計表示(SNTP対応)、SMS送受信、転送検出機能、 無線ハンズフリー(Bluetooth搭載ハンズフリーユニット: LANEX-HF10が必要)

注1: 予告なく仕様変更される可能性があります。

注2: 防爆上の制約より、危険エリアにて使用する際は、IP携帯電話を革ケース(付属品)に入れてご使用ください。

<<システム構成例>>



JFE エンジニアリング 株式会社 <総販売元>

鶴見事業所(横浜本社)

〒230-8611 横浜市鶴見区末広町二丁目1番地

電力・資源プラント事業部 営業部

電話番号: 045-505-7382

FAX番号: 045-505-7827

